



平成 29 年度大町市定住促進共同研究  
まちづくりシンポジウム 2017  
空かないまちの  
仕組みづくり

2017年7月9日(日)

14:00~16:30 (開場 13:30)

大町公民館分室 講堂 (大町市中央保健センター)  
(住所: 大町市大町 1058 番地 13)

定員 | 100名 (当日先着順)

参加費 | 無料

主催 | 大町市まちづくり交流課定住促進係  
信州大学学術研究・産学官連携推進機構

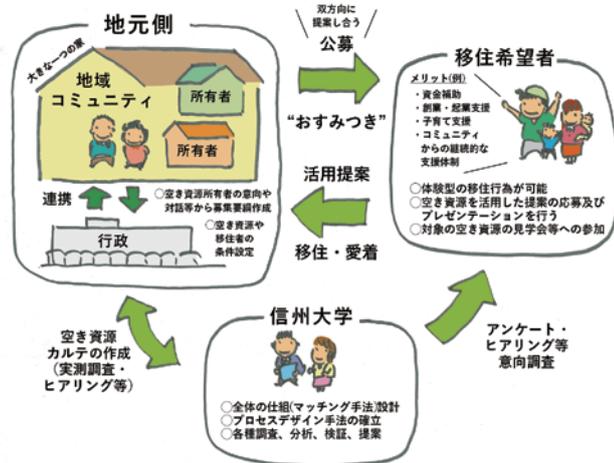
# 「まちづくりシンポジウム 2017—空かないまちの仕組みづくり」

いまや地方都市の代名詞と言える人口減少・少子高齢化の国家的課題は大町市でも色濃く、特に『空き家』の問題はさまざまな形でまち自体の顔を変えつつあります。15年後には空き家2000万戸(3戸に1戸が空き家)の時代を迎えるとも言われる中、私たちのまちは、今後い

たいどうなっていくのでしょうか。何を次世代につないでいけるのでしょうか。

空き家は、人口の抜け殻です。人々の暮らしを脈々と支えてきたまちの器です。空き家、空き店舗、空き土地。先人から受け継いできたこうした「空き」を「ない」と捉えるのではなく、むしろ「資源」と考えられないでしょうか。つまり、「空き資源」をまち全体の財産と捉えたまちづくりを実践します。

大町市と信州大学は、平成 27 年度から共同でこの「空き資源」を活用するまちづくりの研究事業を実践してきました。本年度は、全国でも初となる仕組みを試験的に実施する予定です。このシンポジウムでは、事業内容の共有だけでなく、明日の大町をつくる空き資源の可能性について市内外の多くの皆さんと共に考える機会といたします。



平成 29 年度共同研究関係イメージ図



日 時 | 平成 29 年 7 月 9 日 (日)  
14:00~16:30 (開場 13:30)

場 所 | 大町公民館分室 講堂 (大町市保健センター)  
(住所: 大町市大町 1058 番地 13)

ご家族連れ、お子さんも大歓迎!  
一緒にまちの未来について考えましょう!

## プログラム |

開 場 13:30~

開 会 14:00~

第一部 14:10~14:55

講演「空かないまちの仕組みづくり」

講師: 新 雄太

(信州大学 産学官連携・地域総合戦略推進本部 研究員)

第二部 15:00~16:30

「空き資源の未来対話！」

講師: 鳥山 香織

(信州大学 学術研究支援本部 助教)

閉 会

## 事務局 |

大町市まちづくり交流課定住促進係 (担当: 西澤)  
住 所: 〒398-8601 長野県大町市大町 3887  
電 話: 0261-21-1210 (ファクス: 23-4304)  
メール: teijuu@city.omachi.nagano.jp

## 講師 | 新 雄太

信州大学 産学官連携・地域総合戦略推進本部 研究員

神奈川県川崎市出身。スイス連邦工科大学留学後、2009年東京芸術大学大学院修了。コンラディン・クラヴオット建築設計事務所(スイス)にて勤務後、2014年~現職。専門は、建築設計・意匠・近現代建築史。主な研究活動は、長野市耕作放棄地等におけるソルガム活用調査共同研究、文部科学省 地(知)の拠点整備事業「地域戦略プロフェッショナル・ゼミー中山間地域の未来学」などを担当。本共同研究代表。



## 講師 | 鳥山 香織

信州大学 学術研究支援本部 助教

青森県で建築会社を勤務後、2011年八戸工業大学大学院工学専攻科 博士後期課程修了。2012年~現職。専門は都市計画・建築計画・コミュニティ施設計画、雪国の集住デザインのあり方を研究。長野県内の公共施設計画策定、平成25年度、平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」のカリキュラム策定や、平成26年度文部科学省「大学等創出強化支援(イノベーション対話促進プログラム)」などを担当。



信州大学地域総合戦略推進本部工学部分室 (担当: 新)  
住 所: 〒380-8553 長野市若里 4-17-1  
電 話: 026-269-5178  
F A X: 026-269-5630